

横浜市立六つ川台小学校 中期学校運営計画 平成20年4月21日

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

- 『広がる思いやり台小の子』
- ・自分を豊かに表現し、共に高め合う子を育てます。(学び合い)
 - ・多くの人とふれ合い、互いのよさを認め合い、共に生きる子を育てます。(共生)
 - ・自然とかかわり、心身ともにすこやかな子を育てます。(心と体)

学校経営方針

- ・学校教育目標の大テーマの思いやりの心を育てるために、全ての教育活動の中で具現化を図ります。
- ・子どもに寄り添い、優しい心が育つ環境づくりを進めていきます。

指導の重点

- ・あらゆる教育活動の中で、子どもたちが主体的に活動できる場を設け、人との関わりを大切にすることを育てます。
- ・自分の考えを素直に表現し、一人ひとりのよさを認めながら能力を高め合う子を育てます。

改善の視点

取組目標

1 豊かな心を育む教師力と、生活環境の整備を進めます。	常に子どもがわに立った指導を行い、子どもとの会話の時間を充実させ、不登校児童0%を目指します。 自然環境を利用した栽培活動、飼育活動を通して、命の大切さ、心の豊かさを育てます。
2 各教科等の基礎基本をおさえ、個に応じた“わかる授業”を展開します。	教師間のチーム力を高め、少人数指導、IT、習熟度別指導の充実を図り、学習状況調査で市平均到達度を上回るようにします。 生活科・社会科の重点研究をもとに、自ら問題を見つけ、身近な社会と関わり合いながら、解決に取り組む子を育てます。
3 健康でたくましい子を育てるために、自分の身体を考える環境づくりを進めます。	中休み時間を5分伸ばし、外遊びの時間を増やします。 学校保健委員会の活動を充実させ、自らの健康増進に取り組ませます。 給食指導を中心に「食」についての理解を深め、望ましい食生活を実践する子を育てます。 特別クラブや地域の運動会に積極的に参加するよう働きかけます。
4 家庭や地域と連携、協働できる学校づくりを進めます。	保育園、幼稚園、中学校への情報発信を密に行い、学校行事等への参加をさらに求めて行きます。 学校評価(内部・外部評価)を分析、検討し、地域の学校として信頼される学校づくりを推進します。

人材育成の考え方	増加している新任教諭、若手教職員の育成をはかるため、校内研修を少なくとも月1回実施し、経験の多い教職員が協力して指導にあたるようにします。 本校目標の「思いやりのある子」を育てるために、子どもとのふれ合いを大切にし、子どもの心をとらえながら、温かい指導を行う教職員を育てます。
平成20年度の重点取組項目	学校教育目標の具現化ため、教育活動に縦割り活動や学年交流を多く取り入れます。 子どもの主体的な活動力を育てるため、宿泊体験学習のあり方を考え、実践します。 (18年度より4、5年生独自計画、19年度より6年生修学旅行を那須甲子方面2泊3日に) 情報教育の充実を図ると共に、学校ホームページの内容を充実させ、広く本校の教育活動を伝えます。 YICA(横浜国際コミュニケーション活動)準備校・小中連携型カウンセラー配置校として、保護者や地域の方々と連携して、横浜市の外国語活動やカウンセラー体制の一層の充実を図ります。
これまでの取組結果	各教育活動、学校行事等を通して、学校教育目標の具現化が進み、学校全体が優しい心・思いやりの心で動いている。

教育懇話会の意見	<p>(19年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの防犯意識は、まず各家庭でもたなければならない。 ・平成19年度より六ツ川地区の合同文化祭を開催するので、協力してほしい。 ・祭りなど地域の行事に参加することによって、自分の地域を見直すよい機会になる。 ・地域の人が挨拶すると、子供たちは喜んで挨拶を返している。これからも、互いに挨拶を交わしあえる地域にしていきたい。 ・大池磯子などの伝統文化を学校の教育活動に取り入れてほしい。それにより、子どもと地域の方々とのふれ合いの場にもなる。 ・六ツ川台小学校には、びわやさくらんぼ・夏みかんなどの実のなる樹木が数多くあるので、それらを食教育に生かすようにしたい。 ・平成21年度から小学校でも英語活動が始まるので、英語が堪能な方々の協力をお願いしたい。
----------	--

1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 2 は重点項目